

ゆるやかに、つながり ほどよく、おすばれる



群馬県 桐生市

移住ガイドブック



まちなか暮らしと田舎暮らしのどちらも楽しめるまち

桐生市は、こんなまち

織物のまちとして発展してきた桐生市は、ノコギリ屋根の織物工場や伝統的建造物が数多く残り、まちなかには国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている地区もあります。市内には渡良瀬川と桐生川が流れ、山々が連なり、水と緑に恵まれた自然豊かなまちでもあります。住む地域によって、便利なまちなか暮らしと里山風景の残る田舎暮らし、どちらも楽しめるのが桐生市の魅力です。

くろほね

黒保根 エリア

山間地域で涼しいエリアです。その気候を活かした野菜の生産、大自然の中でのリモートワーク、林業、キャンプ場での余暇活動など、本格的な田舎暮らしの中で、さまざまな暮らしにチャレンジできます。

にいさと

新里 エリア

農業が盛んな地域で、商業施設が充実しています。前橋市と隣接していて通勤アクセスがよく、若い世代が多く暮らしています。北部の別荘地では二拠点居住をする方もいるなど、ほどよい田舎暮らしのできるエリアです。

あいおい

相生 エリア

最も多くの鉄道駅が立地し、国道122号も通るアクセス性が高いエリアです。大型商業施設や市民プール、体育館なども立地しているため、子育てに便利な暮らしができます。

ひろさわ

広沢 エリア

東京方面からの玄関口となる東武新桐生駅が立地し、国道50号が通り、高速道路ICにも近いことから、通勤にも便利でアクセス性が高く、お出かけしやすいエリアです。

さかいの

境野 エリア

栃木県足利市をつなぐ旧国道50号と桐生川沿いに市街地や商業施設が立地しています。大型の商業施設もあり、平地中心なので日常の買い物に便利なエリアです。

かわうち

川内 エリア

渡良瀬川に注ぐ山田川などの小河川沿いに古くから織物産業が展開してきたエリアです。春の終わりには蛍が観察できるなど、自然に恵まれた暮らしができます。

ひし

菱 エリア

まちなかに近く、丘陵地には都市機能の整った2つの大きな住宅団地が開発され、見晴らしの良い、良好な住環境があるほか、自然環境の近くでゆったりと暮らすことのできるエリアです。

うめだ

梅田 エリア

清流「桐生川」の上流部の川沿いに立地するエリアです。梅田野菜やお茶の生産がされ、梅田湖を中心に自然やレジャーを満喫した暮らしができます。

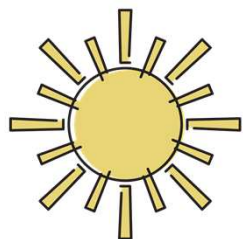


数字で見る桐生市



全国住みたい街ランキング2022 関東部門第 1 位（全国第3位）

生活ガイド.com「全国住みたい街ランキング」（令和4年）



年間日照時間 関東地方で第 2 位

桐生地点 2572.5時間
東京地点 2259.2時間
気象庁「気象観測データ」
（令和5年）

地震の少なさ 関東地方で第 1 位（群馬県）



震度4以上の地震回数 78回
東京都 580回
気象庁「震度データベース」
（大正8年～令和6年）

北関東で唯一 入園無料の動物園 あり

日本動物園水族館協会加盟（令和6年）



市内の高等学校・ 特別支援学校高等部数 8 校

桐生市ホームページ
（令和7年4月1日現在）



保育所等待機児童数 0 人

東京都 361人
桐生市・東京都ホームページ
（令和6年4月1日現在）



人口・世帯数

総数 …… 100,852人
男 …… 48,753人
女 …… 52,099人
世帯数 … 49,217世帯
（令和7年2月末現在）

自然気候

内陸で、まち全体に緑が多く、爽やかな風を感じられます。冬には上州名物の「空っ風」が吹きますが、積雪はほとんどありません。

年平均気温 …… 16.6℃
年間降水量 …… 1219.0mm
最高気温 …… 39.7℃
最低気温 …… -5.3℃
気象庁「気象観測データ」
（令和6年）



ゆるやかに、つながり ほどよく、むすばれる
桐生市移住支援フロント

むすびすむ桐生

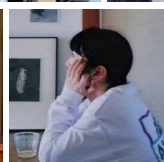


□ むすびすむ桐生とは？

移住を検討している方の不安を取り除くこと。店舗開業や起業したい方の夢の実現に寄り添うこと。移住定住に関するワンストップ相談窓口として開設した「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生」では、さまざまな人と人とのつながりにより、あなたらしい暮らしの夢を叶えます。

□ 私たちが相談を受けます！

移住者夫婦・家族、店舗開業者、アパレルデザイナー、農業従事者、まちの仕掛け人など、個性豊かな11人の移住コーディネーターが伴走型支援を行います。対面相談だけでなく、オンライン相談も可能ですので、まずはお気軽にご相談ください。



チーフコーディネーター

地域コーディネーター

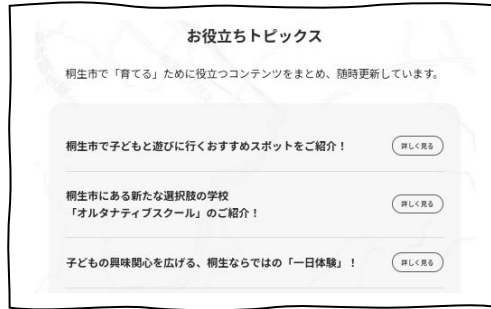
□ 移住支援ポータルサイト「むすびすむ桐生」



暮らしに関するさまざまな情報や魅力を発信するサイトです。移住者インタビューやお役立ちトピックスなど、毎月情報を更新しています。



移住者インタビュー



トピックス



シミュレーション

□ さまざまなイベントを開催

桐生市のファンになっていただいたり、関係人口となっていただくため、各種イベントを開催しています。



親子で体験 日本酒ができるまで（全3回）



親子で体験 KIRYUほしぞらキャンプ



まち歩きツアー



空き店舗見学会



オンラインセミナー

他にも、、、

- ・出張移住相談会
- ・まちなかを巡るサイクルツアー
- ・ワークショップ

などを開催中です！

□ 開設時間・アクセス

開設時間 10:00～17:00

休業日 年末年始

Tel 050-3529-6573

E-mail musubisumu@kiryu-iju.jp

HP <https://kiryu-iju.jp>

Instagram @musubisumu_kiryu



問い合わせ
フォーム

住所 〒376-0031 群馬県桐生市本町5丁目51番地

東武桐生本町ビル1階cocotomo内

アクセス JR桐生駅から徒歩約10分、太田藪塚インター

または太田桐生インターから車で約25分)

※近隣に提携駐車場あり

きりゅうで働く

桐生市での開業・起業を応援します。



新店舗開設促進事業補助金

空き物件を活用して新店舗を開設する個人や法人に、最大140万円を補助します。

改修工事費：最大100万円、中心市街地空き店舗情報登録制度の登録物件活用加算：10万円、若者世代（40歳以下）の移住者加算：最大30万円



ものづくり拠点開設補助金

空き物件を活用して、新たに工房・工場などを開設する個人や法人に、最大80万円を補助します。

改修工事費：最大50万円、若者世代（40歳以下）の移住者加算：最大30万円



まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業補助金

市内にある店舗の事業承継（経営引き継ぎ）を行う個人や法人に、最大80万円を補助します。

改修工事費：最大50万円、若者世代（40歳以下）の移住者加算：最大30万円



中心市街地空き店舗情報の紹介

中心市街地エリア内の空き店舗の物件情報を桐生市ホームページに掲載しています。



店舗付き市営住宅

群馬県内でも珍しい店舗付きの市営住宅があります。居住部分と店舗部分をセットで借りられるため、ランニングコストが抑えられます。店舗のみの物件もあります。



コワーキングスペース・シェアオフィス・インキュベーションオフィス

市内の中心地にある東武桐生本町ビルに、開業・起業希望者や創業者、個人事業主、フリーランスの方が活動拠点にできる施設があります。

1階にはコワーキングスペース「cocotomo（ココトモ）」、2階にはシェアオフィス「SHARED OFFICE 1000（せん）」、3階には創業支援施設「インキュベーションオフィス」があり、希望に合わせた柔軟な働き方ができます。

また、インキュベーションオフィスでは企業支援の専門家による経営支援を受けられるほか、安価な家賃でオフィスを構えることができます。

住所：〒376-0031 群馬県桐生市本町5丁目51番地



東武桐生本町ビル

- | | |
|----|------------------|
| 3階 | インキュベーションオフィス |
| 2階 | シェアオフィス1000 |
| 1階 | COCOTOMO、むすびすむ桐生 |

農業・林業支援

「農業を仕事にしたい（就農したい）」、「林業を仕事にしたい」という方の相談に応じています。希望に合わせて、市役所窓口から各支援機関・専門機関へとおつなぎします。



きりゅうで子育て



桐生市の子育て環境

保育園・幼稚園から大学まで、特色ある学びの環境が整っています。次世代を担う子どもたちのために、市内にある国立大学法人群馬大学理工学部や様々な機関と協力し、桐生ならではの教育プログラムを行っています。



大学

市内には群馬大学理工学部があります。

高校

普通科から工業・商業まで7校あります（全日制・定時制・通信制）。

特別支援学校
(小・中・高等部)

県立特別支援学校が2校あります。

義務教育学校

「桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり」を基本理念に、特色ある学校づくりを行っています。また、小中一貫校として地域と連携した学びや英語教育などに力を入れる義務教育学校（黒保根学園）があります。そのほか、多様な学びの場があります。

中学校

小学校



保育園
幼稚園

園ごとに特色のある保育・教育を行っています。

一時預かりや保護者同士の交流できる子育てサロンなども行っています。

誕生

子育てに関する総合相談窓口「こども家庭センター」が、さまざまな悩みや質問にお答えします。秘密厳守・相談無料です。



〔保育〕

充実した保育環境

市内には幼稚園が2園、保育園が6園、認定こども園が25園あります。裸足で泥だらけになって自然と触れ合ったり思いきり体を動かしたりする遊び、かいたりつくったりする表現遊び、外国語や多文化に触れる活動など、乳幼児期の子どもの健やかな成長・発達のために、園ごとに特色のある保育・教育を行っています。



子育て応援制度

子どもは、18歳になった年の年度末までの医療費（保険診療費）が無料です。中学生は給食費が無料※です。第3子以降は、公立幼稚園・保育園・認定こども園の保育料が無料、放課後児童クラブの保育料が無料、小学校の給食費が無料（扶養要件あり）※です。※私立・市外の学校に通う中学生・第3子以降の小学生には給食費相当額を補助します。



屋内遊戯場「キノピーランド」

0歳から小学生までのお子さんが天候に左右されることなく遊べる施設です。大型遊具もあります。楽しみながら親子同士で交流できるほか、常駐するスタッフに子育ての悩みを相談することもできます。

料金：子ども1人につき1利用時間区分（60分）ごと100円
6か月未満のお子様は無料



こども家庭センター

子育てに関する悩みごとや心配ごとを相談できる場所です。妊娠・出産・産後に関する相談、お子さんや家族に関する相談などに、さまざまな専門職（保健師、助産師、保育士、社会福祉士、管理栄養士、歯科衛生士、公認心理師など）がお答えします。また、相談内容に関して必要な支援を検討し、提供します。



〔教育〕

サイエンスドクター事業

群馬大学の大学院生がサイエンスドクターとして幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校に出向きます。理科実験やプログラミング体験などを通して、科学好きな子どもを育てる取り組みを行っています。



国際理解推進事業・ 西町インターナショナルスクール交流事業

黒保根地区の特色ある教育として、専任の外国人英会話講師を配置し、保育園から黒保根学園（小・中学校）までの一貫した英語活動を行っています。また、姉妹提携校の西町インターナショナルスクール（東京都港区）と農業体験やホームステイなどの交流を行っています。



未来創生塾

産・官・学・民が連携した桐生発の特別教育プログラムです。自然・歴史・文化など地域の教育資源を生かしたプログラムにより、感性を育み、世界をリードする人材育成と100年先の楽しい未来社会構築を視野に入れた取り組みを行っています。



子どもがつくるまち ミニきりゅう

「ミニきりゅう」は、小学生を対象とした、子どもたちがつくる、子どもたちだけの、子どもたちのための仮想のまちです。たくさんの職業から好きな仕事を体験し、ミニきりゅう専用通貨で給料を受け取ります。給料は納税したあと、ミニきりゅうのなかで使うことができます。働くことやお金を使うことを通して、仕事の楽しさや社会の仕組みなどが学べるイベントです。



〔施設〕

入園無料の動物園・遊園地

全国でも珍しい入園無料の施設があり、子育て世帯に人気です。桐生が岡動物園は、レッサーパンダやライオンなど100種以上の動物を飼育しています。桐生が岡遊園地は、「ウォーターシューティングライド」や「カード迷路ぐるり森大冒険」などのアトラクションがあり、市内に住む子どもには、毎年アトラクションの優待券を配布しています。

アトラクション料金（1回）：大人200円、中学生以下100円

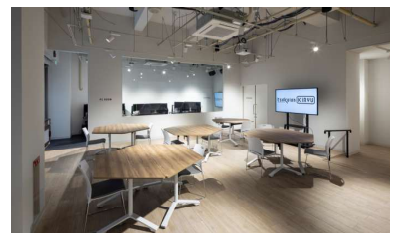


tsukurun KIRYU (ツクルン キリュウ)

「tsukurun (ツクルン)」とは、群馬県が設置した、デジタルクリエイティブに特化した小中高生の人材育成拠点です。

「tsukurun」初のサテライト施設として誕生した「tsukurun KIRYU」には、プロも使用する最先端のデジタル機材やソフトウェアが揃っていて、初心者から経験者まで無料で創作活動を行うことができます。

移住検討者の見学や移住後の利用相談にも応じています。



県立ぐんま昆虫の森

全国的にもユニークな「昆虫」をテーマにした体験型教育施設です。45ヘクタールの敷地に雑木林や田畑、小川などの里山を再現しており、そこで暮らす昆虫を探し、手に取り、生態が観察できます。昆虫観察館では里山の生きものや世界の昆虫を見ることができ、亜熱帯の植物が生い茂る温室では、日本最大級のチョウ「オオゴマダラ」を間近で観察できます。

入園料：大人410円、大学生・高校生200円、中学生以下無料



自然の中での川遊び

桐生市の自然は、日本森林浴の森100選、日本水源の森100選に選ばれていて、清流で川遊びを楽しむことができます。



きりゅうに **住む**



きりゅう暮らし応援事業で、暮らしをサポート！

移住者住宅取得助成

転入後2年以内の移住者で、令和7年4月1日以降に市内に住宅を建築または購入し、5年以上定住する方に、住宅取得費（最大200万円）を助成します。



住宅リフォーム助成

市内に住宅を所有し、その住宅に住んでいる方で、市内業者を利用して住宅リフォーム工事を行う方に、工事費（最大30万円）を助成します。



空き家利活用助成

1年以上住んでいない住宅（空き家）を、住宅として住む・借りる・貸すためのリフォーム工事を行う方に、工事費（最大100万円）を助成します。



移住支援補助金

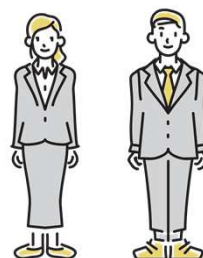
東京圏から桐生市に移住し、地域の担い手となっ
ていただける方に、移住支援金を交付します。令
和7年度から関係人口要件を拡充しました。

単身の方 … 60万円
世帯の方 … 100万円
18歳未満加算（3人まで）
… 1人につき100万円



地方就職支援補助金

東京圏の大学・大学院を卒業し、群馬県内の
企業に就職＆桐生市へ移住する方に、採用面
接にかかった交通費の一部と移転費の一部を
補助します。



黒保根地区定住奨励金



黒保根地区へ5年以上の定住を誓約した方に、市
内で使える地域通貨でお祝い金を支給します。

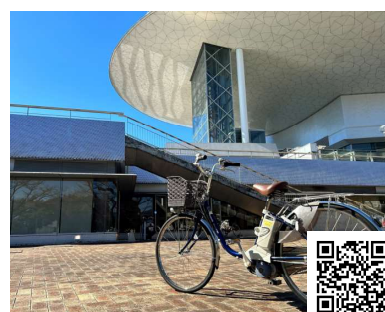
結婚祝金 … 5万円
出産祝金 …
第1子5万円
第2子10万円
第3子以降15万円



環境都市推進補助金



温室効果ガス削減に向け、電動アシスト自転車の購入、宅配
ボックスや蓄電池設備の設置について、市内で使える地域通貨
で補助金を支給します。



移住検討応援金



移住・定住を目的に、移住活動を行う方が、市
内の宿泊施設に泊まった場合に、市内で使える
地域通貨（1泊2,000円分）を支給しま
す（中学生以上、最大2泊・2人まで）。

黒保根地区 ひまわり団地 宅地分譲販売

坪単価は1万円台からで、
令和7年4月現在、8区
画を販売中です。



桐生市空き家・空き地バンク

□ 空き家・空き地バンクとは？

桐生市内の空き家や空き地を持つオーナーさんから、市に寄せられた情報を紹介しています。
令和7年3月末現在、約150件を掲載中です。全物件に仲介不動産会社が入っています。
住みたい地域や条件で簡単に物件を探せる検索機能がありますので、ぜひご覧ください。



桐生市空き家・空き地バンク

物件の種類

☒ 売買 ☒ 賃貸

土地・建物の状態

☒ 土地建物 ☒ 古家付土地 ☒ 土地

エリア

☒ 桐生地区 ☒ 新里地区 ☒ 黒保根地区

こだわり条件

☒ 300万円以下 ☒ 70坪以上 ☒ 平屋 ☒ 昭和56年6月以降築 ☒ LPガス ☒ 都市ガス

☒ 公営水道 ☒ 4部屋以上 ☒ 居住誘導区域

フリーワードで検索

141件を表示

物件番号順 閲覧回数順 価格が安い順 最終更新順



土地
太田市、足利市方面が一望できる
南向きの土地
物件番号 / 740



土地建物
郵便局やバス停近くの山あいの2
階建て
物件番号 / 739



土地
住宅街から少し離れた小高い土地
物件番号 / 738
所在地 / 桐生市川内町2丁目541-4



土地
群馬大学近くの住宅街にある土地
物件番号 / 737
所在地 / 桐生市安城町2丁目281-1ほか

移住者インタビュー



「テレワークで仕事を変えずに移住」がキーワード！
山口さん家族にお話を伺いました！

家族構成

夫（福岡県出身）、妻（神奈川県出身）
子ども5人（12歳、10歳、7歳、5歳、2歳）

移住の時期ときっかけ

夫：2022年12月に、神奈川県横浜市から移住しました。子どもが増えて家が手狭になってきたので、よりよい子育て環境を考えるようになったのがきっかけです。

桐生市を選んだ理由

夫：一つは妻の親戚が同じ町内に住んでいたことです。子ども達も「従兄妹がいるところに移住したい」と言う子が多かったので、子どもの意見も大事にして、桐生を選びました。また、横浜に比べて物価が安く、以前より広い間取りで庭付きの家を安く購入できたことも理由の一つです。

活用した支援制度

夫：住宅取得応援助成（令和7年度から「移住者住宅取得助成」、11ページ）と移住支援金（12ページ）を活用しました。

仕事の環境

夫：移住前と同じ仕事をテレワークで続けていて、週に1～2回、東京に通っています。ネット環境の問題もなく、仕事を変えずに移住できたので、移住や引っ越しに伴う金銭的な不安も少なかったです。

子育ての環境

妻：小学校高学年の2人は友達と離れた寂しさもあったようですが、転校初日に皆さんが本当にやさしく迎えてくれて「楽しかった！」と帰ってきたことが忘れられません。ほかにも、小学校では校外学習、幼稚園では遠足が多く、子ども達は自然の中でのびのび学べることを喜んでいます。桐生の子ども達は活発に発言する子が多いなと感じるので、うちの子ども達も元気に意見が言えるようになってほしいなと思っています。

暮らしてみた桐生市の魅力

妻：住みやすいです。横浜と比べるとスーパーなどの駐車場が広くて無料ですし、道路もほとんど渋滞しません。それに、皆さん子どもにやさしいんですよ。すれ違えば声をかけてくれるし、地域の皆さんがあったかい笑顔で見てくれるのが嬉しいです。

夫：私は、自然が豊かなことです。犬の散歩のときに川沿いを歩きながら、遠くに見える山々や川を眺めると癒されます。空気もいいですし、いろんな動物にも会えます。

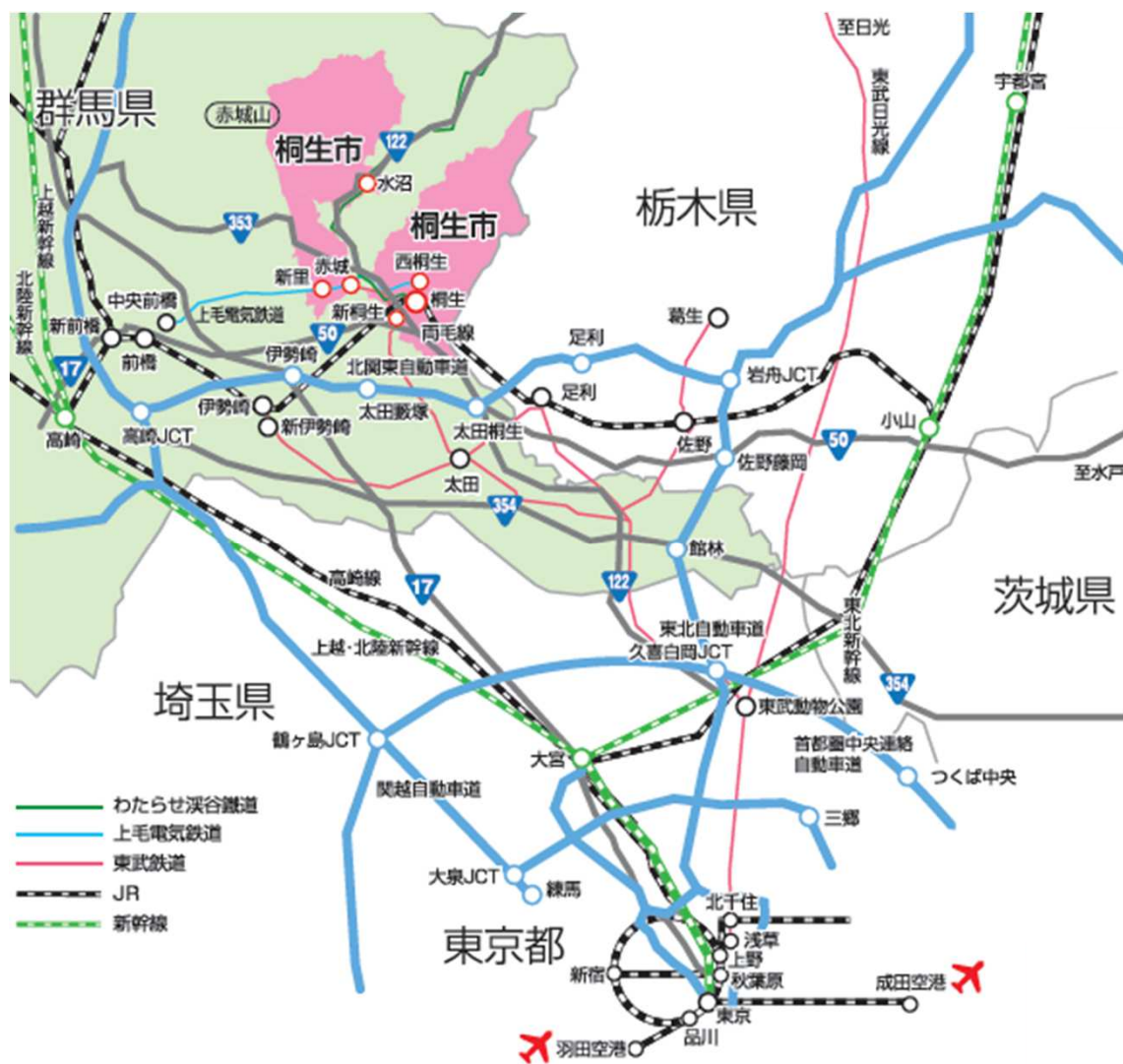
移住を考えている人へ

夫：都会の慌ただしい暮らしから、ゆったりとした暮らしのできる環境に変えるのもいいのではないのでしょうか。

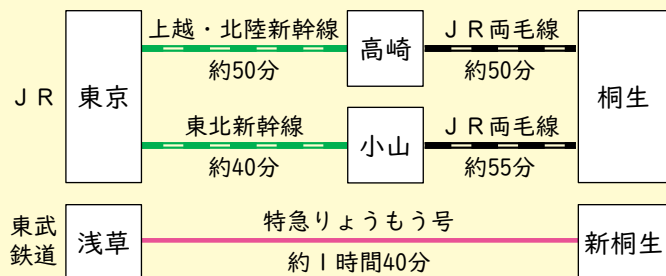
桐生は人との距離感がちょうどよくて、密すぎず、適度な距離感を持って人付き合いができるので、我が家は移住して本当によかったと思っています。

桐生市の地図

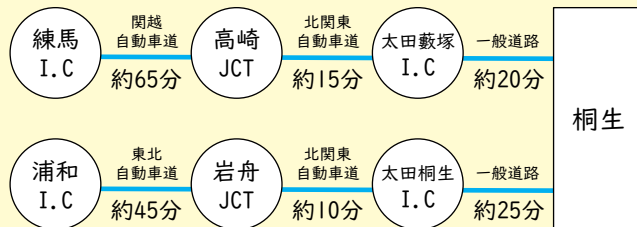
群馬県の南東部に位置し、東京から約90キロメートルの距離にあります。東京には車で約2時間、JR（新幹線経由）または東武鉄道で約1時間40分の距離です。



電車をご利用の方



車をご利用の方



無料のレンタサイクルがあります！
詳しくは左記をご覧ください。

